

はとやまようちえん 園だより



令和 8 年 6 月 4 日

鳩山町立鳩山幼稚園 園長

土曜参観、サツマイモ植えと、様々ご協力いただきありがとうございました。新たな生活に、お子さんの様子は落ち着いてきましたでしょうか。幼稚園では、にじ組さくら組さんはより自分らしく、もも組さんは、幼稚園が安心できる場所だと実感して、よそ行きの顔から少しずつ自分の本来の姿を見せてくれるようになっていきます。

早くも 1 学期の折り返し地点です。子ども達が、自分から楽しみを見つけて充実した毎日を過ごせるよう、工夫していきたいと思います。



素足で砂遊び、楽しい泥んこ

「ちょうちょさんと一緒にじゃないから」

先生とこども達のコミュニケーションの始まりは「朝のあいさつ」です。「おはよう！」と声を掛けると、元気に返事してくれる子、目を合わさずにあいさつする子、手を出しておはようのタッチを求める子、恥ずかしくて素通りする子、気づかずに走って部屋へ向かう子。19 人それぞれの反応です。

その日も、バスから降りるこども達を門の前で迎えていたのですが、もも組の A ちゃんは、私のあいさつに返事がありませんでした。その日は素通りしていく子ばかりで、「あいさつしてくれなくて、寂しいな」と私が言葉にすると、横で様子を見ていた A ちゃんが「私はちょうちょさんと一緒にじゃないから、『おはよう』って言わないの。」とつぶやきます。（「ちょうちょさん」は、保育室にあるお気に入りの指人形です）

「それなら、後でちょうちょさんと一緒にしてくれる？」と A ちゃんに声をかけ、身支度が終わったタイミングで会いに行くと、ちょうちょさんと一緒ににはにかみ顔で「おはよう！」とあいさつしてくれました。



人と関わるきっかけをつくる「あいさつ」。毎日のやり取りの中で、「あいさつは相手とするもの」ということは、子供たちなりに理解をしています。それでも、いろいろな思いの中で、自分から声に出すことが難しい時もあるようです。

A ちゃんは、私の「寂しいな」という言葉を聞いて、自分が返事をしなかったことで、寂しい気持ちになっている、ということに気づいたようです。そこで、「大好きなちょうちょさんと一緒なら」と、A ちゃんなりに私とあいさつするきっかけを考えてくれました。あいさつをした時の A ちゃんの気恥ずかしそうな、嬉しさのにじみ出た顔からは、あいさつを交わせた喜びがあふれていました。



生活の流れ（6月）

時期	もも組	さくら・にじ組
6月上旬	- 健康診断を受ける（内科・歯科） - 空き箱で車遊びをする - 新聞紙遊びをする 	- 健康診断を受ける（内科・歯科） - 空き箱で車を作り、走らせて遊ぶ - 図書館に行って本を借りる、返す
中旬	- ジャガイモ掘りをする - 野菜スタンプで遊ぶ	- ジャガイモ掘りをする - 七夕飾りを作る - 楽器を使って遊ぶ 
下旬	- 水遊びをする - シャボン玉遊びをする - ゆび絵の具で遊ぶ 	- 水遊びをする - シャボン玉遊びをする - ゆび絵の具で遊ぶ

グリンピースを収穫しました

園庭で育てたグリンピースが大きく実り、にじ組さくら組のこども達は直接収穫し、もも組のこども達は、先生が収穫したものを自分で袋に入れて持ち帰りました。



さくら組
収穫の様子はこちら↓

⚠ 個人情報保護の観点より、HP 上での動画公開は控えさせていただきます。



4・5・6月お誕生会

お誕生日の皆さん、おめでとうございます！

今回は、ポンポコの会の皆さんが楽しい出し物を披露しました。



にこにこ ももぐみ

『最近のもも組さん!』



もも組担任

5月に入り日差しが強くなってきた毎日ですが、もも組の子供たちは庭に出て三輪車に乗ったり、あみをもってチョウを追いかけたり元気よく遊んでいます! 最近ホールで赤・青・緑のマットを敷いて、教師の言った色のマットへお引越しをするゲームを楽しんでいます。お引越しの色が分かったら、元気いっぱい走り「次は何色かな?」とわくわくした表情で次の色を待つ子供たち。他の色のマットにいる友達に、Aちゃんが「こっちだよ!」と声を掛けてお迎えに行き、一緒に走ってくる姿もあり、みんなで楽しく取り組んでいます。



★みんなで楽しいな★

給食が始まり、Bちゃんが毎日「ヤミー!」と頬をおさえて嬉しそうに食べているのを見て、教師が「ヤミーってなんだろうね?」と声を掛けると、Cくんが「おいしいってことだよ!」と答えました。それを見ていたほかの子供たちも、最近では給食を食べて美味しかった時に「ヤミー!」と嬉しそうに頬をおさえて、教師や友達に見せてくれています。また、降園前の『さようなら』の挨拶では、さようならの後に「バーイ!」というBちゃんの声がクラスに広がり、今はみんなで『さようなら』の後に、『バーイ!』と言ってハイタッチをし、笑顔いっぱいで『またね』の気持ちを伝え合っています!

園生活の風景(もも組) 好きな遊びを見つけて、笑顔で過ごしています。



もも組初めての給食

今はだいぶ慣れてきた給食、初めての日の様子です。

⚠ 個人情報保護の観点より、HP上での動画公開は控えさせていただきます。

さくらぐみ・にじぐみ



さくら組担任

にじ組担任

★さくら組★ 【鬼ごっこ！楽しんでいます！】

「足がはやくなりたいな！だって（鬼に）捕まらないから！」と帰りのバスの中でA君が言いました。もも組の時から鬼ごっこが大好きな皆は、クラスみんなでする鬼ごっこを毎日楽しみにしています。氷鬼をしてたくさん走った後に、B君が「胸がどンドンする！」とつぶやきました。またある日は、走った後に心臓がドキドキしていることを、Cちゃんが「なんだかお胸のあたりが痛い！」と表現していました。最近では氷鬼のルールもすっかり定着して、逃げたり捕まえたり、仲間を助けたりという動きがより楽しめるようになってきており、もも組の時よりぐんと運動量が増えてきています。一生懸命に走ると鼓動が早まり、自分の体にも変化が起きるということに気がついた時の、子供らしい可愛らしいつぶやきに『素敵だな』とほっこりしました。

★にじ組★ 【にじ組だもんね！】

大好きな給食の時間、みんなで「いただきます」をして食べ始めます。苦手なものも食べ進め、ほぼ完食で食べ終わりました。「今日はお野菜も食べたし、たくさん食べたね！」と教師が声を掛けると、さくら組のお友達が、「だってにじ組だもんね！」とニコニコなお顔でお話をしてくれました。にじ組らしく、次の日も給食を沢山食べることができました。にじ組になって、さくら組の時には、なりたがらなかった鬼ごっこの鬼役も、にじ組になって自分から鬼になり楽しむ姿も見られるようになってきました。もも組、さくら組と、園で過ごしてきた2年間の経験の積み重ねが、今の姿に繋がっていると感じました。現在は、個人でミニヒマワリの栽培が始まりました。にじ組だけの特別な経験です。これからも、これまでの経験の繋がりと新しいことの挑戦を一緒に楽しんでいきたいと思います。



バケツ稲の準備が始まりました

園の庭でお米を育てるために、種粃（たねもみ）から苗を育てています。



5月8日「ふるい」を活用して、種粃を植えました。

26日、ここまで伸びたよ。